



きらりん えがお

令和4年5月13日
平田幼稚園
園長 田中佳江

ゴールデンウィークも終わりました。ご家族でゆっくりと過ごされたのではないかと思います。気候のさわやかな5月、天気の良い日は戸外でのびのびと気持ちを開放して遊びたいと思います。

保育公開・PTA 総会を行いました

4月28日(木)に、今年度初めての保育公開とPTA 総会を行いました。ご多用の中お出かけいただき、ありがとうございました。年少・年中児は「ぐんぐんタイム～朝の集まりの様子」、年長児は「朝の集い～園庭でタイヤ跳びや鬼ごっこ、最後に親子ダンス」を見てもらいました。おうちの人が見てくれるとあって張り切る姿や、ちょっぴり照れくさそうな姿などいろいろでした。最初は立っていた年少児が、保育室に集まって椅子に座ることができていたり、7人しかいない年中児のクラスから元気いっぱいの挨拶や歌声が聞こえてきたり、年長児は鬼ごっこのルールを守りながら思う存分体を動かしたり・・・この一か月余りで一人一人が新しいクラスに親しみ、少しずつ成長している様子をご覧いただけたのではないのでしょうか。「いろいろなことが初めての中、どう過ごしているのか見ることができて安心した」「朝の準備を自分でしたり、親が思っている以上に踊ったり走ったりしていて一安心」「当番をしっかりとしたり、パワフル生き生きと動く姿に年長さんらしさを感じた」など、たくさんの感想をいただきました。これからもいろいろな姿や成長を見せてくれる子ども達、楽しみです。

またPTA 総会でも、役員さんだけでなく、保護者の方一人一人がPTA 会員として子ども達の楽しい園生活をサポートして下さる雰囲気を感じられて、とても嬉しく心強く思いました。



「椅子に座ってお茶タイムの年少児」



「じゃんけん遊びをする年中児」



「親子ダンスで楽しむ年長児」



「PTA 総会」

～最近、心に留まったこと①～

5月7日の新聞の記事が目にとまりました。『ある小学校で通知表を廃止』読むと、テストの目的は、理解していないことを把握し、次の学習につなげること。それぞれの問題の強弱に意味はない。「他人と比べる」価値観から距離を取り、学びの本質に向き合っ、教職員で話し合い通知表を廃止したとのこと。その代わり、これまで以上に子どもの変化や成長に気付いてメッセージを伝えたり、保護者に学習状況を知らせたりしている、とありました。運動会では、学年の団体競技での目標を「本番で練習よりタイムを縮める」としたところ、5クラスが一斉に走り順位はついたが、子ども達も順位を気にせず、タイムを知ろうと息をつめ、全クラスが記録を更新して大歓声・・・というように話していました。

また、昨年研修でお世話になった先生が赴任された阿用小学校ホームページには、田植えをする児童の様子が書かれていました。『怖くて入りづらい思いをしながら、少しずつ自分ができる限界まで頑張って稲を植える子、誰も植えていないところを探して植える子・・・最後までやり切った表情が素敵でした。田植えの活動でしたが、教職員と『学ぶ取組』と一緒に話しました。「気持ち悪い」「やったことがないから嫌だ」などと逃げたいなら何も始まりません。自分ができることより少し難しいことに挑戦するなど、一人一人が努力する姿を見ると、こういったことが将来役に立つ「学力」なんだと感じました。』

通知表や運動会の競技の是非は今回はおいておきますが、この二つの話から感じたことは、子どもの成長を「できる」「できない」で評価していないということ、そして、自分で乗り越えられそうな目標(課題)を自分で決めて取り組んでいるということです。すると、子ども達は自分に取り組んでいる過程を認めてもらい、乗り越えられるように力を発揮し、できたときは達成感と自信を味わっています。とても大切なことだと思いました。幼稚園でも自分で遊びを見つけ、その中で考えたり、上手いかわないことも経験したりしながら、夢中になって遊ぶ姿を大切にしています。それが、学ぶ力の基礎となっていくと思います。私たち大人は、一人一人がやろうとしていること、少し頑張っ乗り越えようとしていることをしっかりと見つめ、頑張っている姿を褒めたり、感じたことに共感したりしていきたいですね。

春の遠足、楽しかったよ

9日は晴天とまではいかなかったものの穏やかな気分で、春の遠足を行うことができました。

年少児は、親子で愛宕山公園へ現地集合で行きました。いろいろな動物を見ながらゆっくり上へあがっていき、自己紹介を終えた後は、もう遊具で遊びたくてうずうずだったようです。広い場所でかけっこをしたり、遊具でたくさん体を動かしたりして、おうちの人とたっぷり遊び、笑顔いっぱいでした。

年中・年長児は、園児だけでバスに乗って浜山公園へ。ウキウキ気分バスに乗り込み、張り切って出かけました。年中児はタコの滑り台や総合遊具など、友達や先生と一緒に楽しみました。年長児は奥のアスレチックに挑戦！綱に足が引っかかりながらよじ登ったり、「もう少しだよ、がんばれ」と声をかけたりしながら、自分なりの方法や遊び方で挑戦していました。たくさん遊んだ後は、

美味しいお弁当とおやつを食べ、満足感いっぱいバスで帰りました。「あ～、楽しかった」

「まだ行きたいな」という声が聞こえるほど、楽しい一日だったようです。お弁当やおつつの準備を、ありがとうございました。



「いろいろな動物がいるね」年少児



「楽しい遊具で遊ぼう」年中児



「アスレチックに挑戦」年長児

年長さんのきらりん挨拶隊スタート

「おはようございます」の挨拶を交わすと、一日のスタートが気持ちよく切れますね。また、いろいろな挨拶は、コミュニケーションの第1歩だと思います。平田幼稚園では、こうした気持ちの良い挨拶が自分からできる子どもをめざし、年長児が月に1回『きらりん挨拶隊』として玄関で登園してくる親子に挨拶をしています。挨拶隊の子が「おはようございます！」と張り切って挨拶をし、登園してきた子どもや保護者の方からも「おはようございます」と元気のいい挨拶が返ってきます。保護者の方が帰られる時には「さようなら」と言いますが、その時の保護者の方の顔はみんな笑顔です。やはり、挨拶は人と人をつなぐコミュニケーションだなと感じます。こうした取り組みや、日々の積み重ねで、4月よりもどの子どもも気持ちの良い挨拶ができるようになってきていますよ。



各クラスの遊びの様子、あれこれ

年少りんご組は、園での生活の仕方にも慣れてきて、少しずついろいろな遊びの楽しさを感じ始めています。中でも砂遊びは特に面白いようです。スコップで穴を掘ったり、山を作ったり、カップに砂を入れてごちそうを作ったり・・・。川に水を流す遊びでは、すぐに水が乾くので繰り返し水をくむ子、小さいカップでは足りないの大きいバケツにカップで水を入れてから流す子・・・と、年少児なりに考えていてびっくりしました。裸足で砂や水の感触を味わうのも気持ちいいようです。

年中き組は、生き物に夢中。園で見つけたり、家から持ってきた幼虫やメダカのお世話が、ます朝の日課です。自分達で水を取り替えて「きれいになったね」と喜んだり、「園長先生、幼虫にあげるのお花をください」と一緒に枯れたパンジーの花を摘んだりしています。毎日、世話をしたり様子を見たりしながら、生き物に心を寄せ、生き物の成長や命についても学ぶ機会となっているようです。

年長あお組は、天気が良いと園庭で鬼ごっこが盛んです。鬼チームと逃げるチームに分かれ、ルールを守りながら存分に体を動かし楽しんでいます。どうしたら捕まえられるのか鬼チームで相談するシーンも見られました。鬼ごっこは、前後に気を配ったり、ただ走るだけではなく、身をかわしたりターンをしたりと、いろいろな動きをしたりと、この年齢にとっても良い遊びです。

また、風の遊びにも夢中です。風車を作って走って回したり、紙コップなどで転がるものを作ってウチワや粘土板など風を起すものを自分達で見つけて転がして遊んでいます。転がるものも自分で材料を選び試行錯誤しています。今の時期、興味をもったことに自分なりにとことん向かってほしいと思います。



「砂場の川に水を流そう」年少児



「メダカのおうち、きれいこしよう」年中児



「ウチワや粘土板で風をおこして、転がしたり倒したり」年長児